

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-3		事業名	合流式下水道の改善事業
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 田中直人 818-3441			
全体計画				
事業内容	大雨の時などに、汚水の混じった雨水が流れ出て川を汚してしまう問題を解決するため、吐口(はきぐち)対策や、雨の降り始めの特に汚れた下水を一時的に貯める下水道管(貯留管)の整備などを実施する。	<年度別の事業内容>		
		19年度	豊平川雨水貯留管の基本設計 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置 雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法)に関する調査	
		20年度	豊平川雨水貯留管の実施設計 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置 雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法など)に関する調査	
		21年度	豊平川雨水貯留管新設工事 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置	
		22年度	豊平川雨水貯留管新設工事 合流式雨水吐口のスクリーン施設設置	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	・豊平川雨水貯留管の基本設計 ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 7カ所 ・雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法)に関する調査 雨天時活性汚泥法 水再生プラザにおいて、処理の工程を工夫することにより、雨天時に通常の2~3倍の下水を処理する方法。		・豊平川雨水貯留管の実施設計 ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所 ・雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法等)に関する調査	
事業所	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	・豊平川雨水貯留管の工事着手 ・合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所 ・雨天時の放流水質の改善(雨天時活性汚泥法等)に関する調査 ・手稲処理区における合流改善事業計画の策定			
規模				
件数				
等級				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-1-3			事業名	合流式下水道の改善事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
吐口対策実施済数(累計)	6カ所	13カ所	17カ所	21カ所	24カ所	22カ所	
豊平川貯留管の整備進捗率	-	-	1%	7%	31%	35%	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 下水道事業パンフレットの配布、インターネットホームページや下水道科学館の活用等により、下水道事業のPR及び市民の理解の促進を図る中で、合流式下水道の改善事業についても公表している。また、下水道モニター制度、市営企業調査審議会等により市民意見の収集、情報の共有化を図っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)			課題				
<p>豊平川雨水貯留管の基本設計では、当該施設を合流式下水道の改善だけではなく、浸水対策や雪処理施設としても有効に活用できるような施設設計ができた。</p>			<p>合流式下水道の改善については、豊平川処理区のほかに新川処理区及び手稲処理区の2処理区で対策を進める計画であるが、雨水貯留管による整備は大きな効果が得られる反面、多額の費用を要することから、より効率的な技術開発についての検討が必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>合流式下水道の改善策のひとつである雨天時活性汚泥法について、適用可能な水再生プラザへの導入を検討する。 また、豊平川雨水貯留管については実施設計を踏まえた施設整備を図り、近隣住民のご理解とご協力を得ながら、25年度の完成を目指す。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-1-3		事業名	合流式下水道の改善事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	252,000	129,000	449,000	1,152,000	1,982,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	80,000	53,000	179,000	461,000	773,000	
	市の債	163,000	69,000	247,000	633,000	1,112,000	
予算	その他の他	9,000	7,000	23,000	58,000	97,000	
	一般財源	0	0	0	0	0	
	事業費	252,000	201,617	447,447	-	901,064	
	財源内訳						
実績	国・道支出金	80,000	56,631	177,710		314,341	
	市の債	163,000	131,552	228,217		522,769	
	その他の他	9,000	13,434	41,520		63,954	
	一般財源	0	0	0		0	
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				45.3%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] (全体)							
平成20年3月に合流式下水道における改善対策の早期推進のため、「札幌市合流式下水道緊急改善計画」を変更し、合流式雨水吐口のスクリーン施設の設置(全体計画 58カ所)については、当初計画より前倒しすることとした。							
[21年度]							